

令和6（2024）年度 川崎市上下水道局市民意識調査の結果をお知らせします

水道・下水道に対する市民の皆様の御意見や御要望を調査し、今後の事業運営の参考とするため、平成13（2001）年度から「川崎市上下水道局市民意識調査」を実施しています。

この度、「令和6（2024）年度川崎市上下水道局市民意識調査」に1,546件の回答をいただき、回答データを取りまとめ、報告書を川崎市上下水道局ウェブサイト上に掲載いたしましたのでお知らせします。

1 川崎市上下水道局市民意識調査の概要について

- （1）調査方法： 郵送配布、郵送・インターネット併用回収
- （2）調査期間： 令和6年6月3日（月）～6月26日（水）
- （3）調査対象： 18歳以上の川崎市民3,000人を無作為抽出
- （4）回答数： 1,546件
- （5）回収率： 51.5%

2 調査項目

- （1）基本属性
- （2）水と関わるライフスタイルについて
- （3）災害への備えについて
- （4）広報について
- （5）事業全体（経営・その他を含む）について
- （6）自由回答

3 調査結果の概要

別紙のとおり

4 掲載・配布場所

- （1）上下水道局ウェブサイト
- （2）区役所、市民館、図書館等



上下水道局ウェブサイト

問合せ先
川崎市上下水道局サービス推進部
サービス推進課 渡辺
電話 044-200-3130

《概要版》令和6年度川崎市上下水道局市民意識調査 報告書

1 調査実施の目的

水道・下水道について市民の皆様のご意見やご要望等を把握し、今後の事業運営及び施策の企画・立案等に役立てることを目的として実施した。

2 調査方法と回収状況

調査対象：18歳以上の川崎市民3,000人を無作為抽出

調査方法：郵送配布、郵送・インターネット併用回収

調査期間：令和6年6月3日（月）～6月26日（水）

<回収状況>

発送数	回収数	回収率
3,000件	1,546件※	51.5%

※うち、インターネットによる回収は472件

3 調査項目

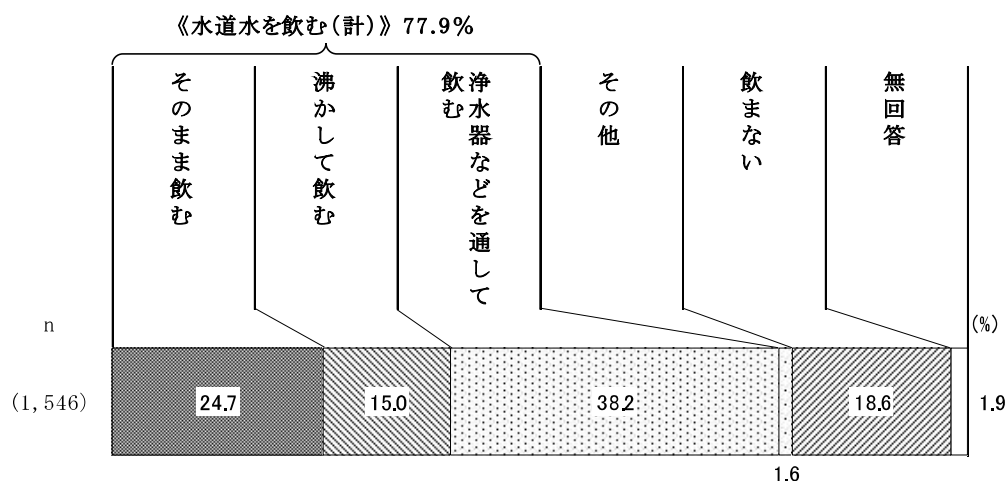
- (1) 基本属性
- (2) 水と関わるライフスタイルについて
- (3) 災害への備えについて
- (4) 広報について
- (5) 事業全体（経営・その他を含む）について
- (6) 自由回答

4 主な調査結果

(1) 水道水の飲み方

◇《水道水を飲む（計）》が 77.9%

問 ふだん、どのように水道水を飲みますか。（○は1つだけ）

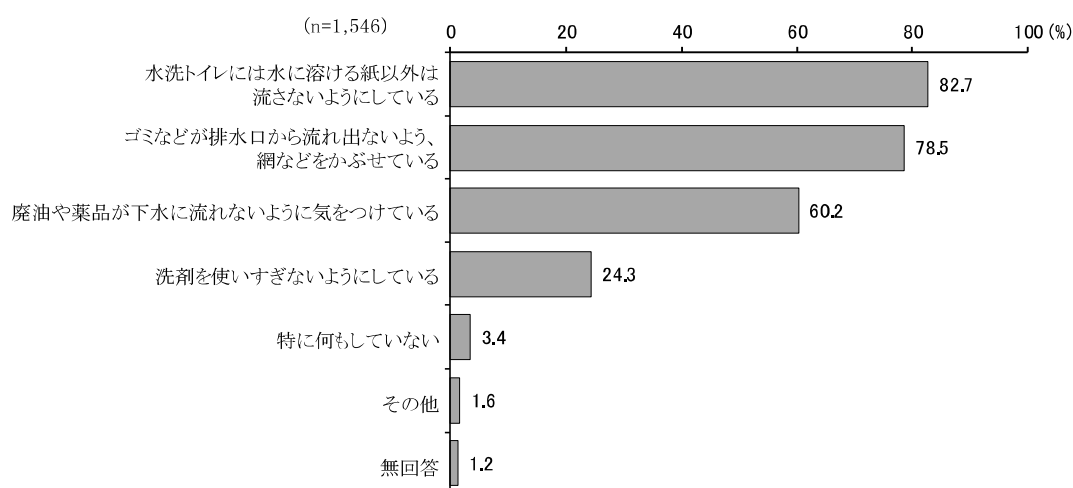


水道水の飲み方は、「浄水器などを通して飲む」が 38.2%で最も高く、「そのまま飲む」(24.7%)、「沸かして飲む」(15.0%)とあわせた《水道水を飲む（計）》という回答の割合は 77.9%となっている。一方、「飲まない」は 18.6%となっている。

(2) 下水道使用で気をつけていること

◇「水洗トイレには水に溶ける紙以外は流さないようにしている」が 82.7%

問3 下水道を使用するに当たって、どのようなことに気を付けていますか。（○はいくつでも）

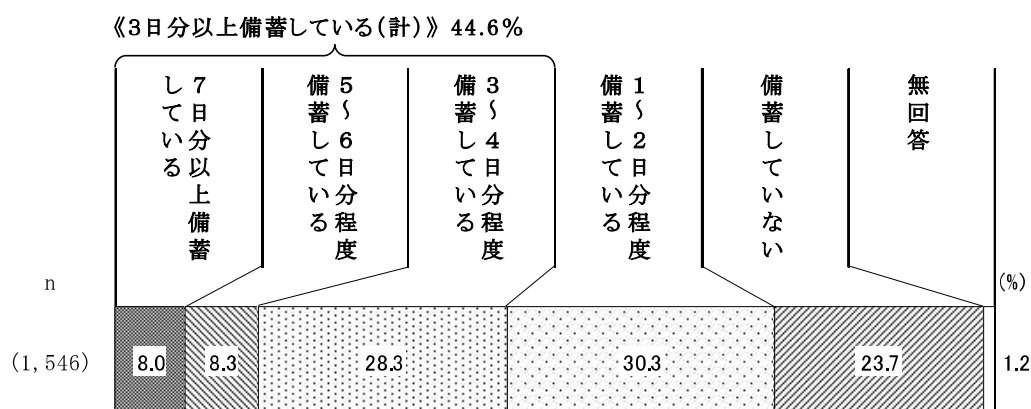


下水道使用で気をつけていることは、「水洗トイレには水に溶ける紙以外は流さないようにしている」が 82.7%で最も高く、次いで「ゴミなどが排水口から流れ出ないよう、網などをかぶせている」が 78.5%、「廃油や薬品が下水に流れないように気をつけている」が 60.2%と続いている。

(3) 飲料水の備蓄量

◇「1～2日分程度」が30.3%

問4 川崎市では、災害に備えて1人1日3リットルの飲料水を最低3日分、できれば7日分以上備蓄しておくことをおすすめしています。あなたのご家庭では、災害時に備えて飲料水をどの程度備蓄していますか。(○は1つだけ)

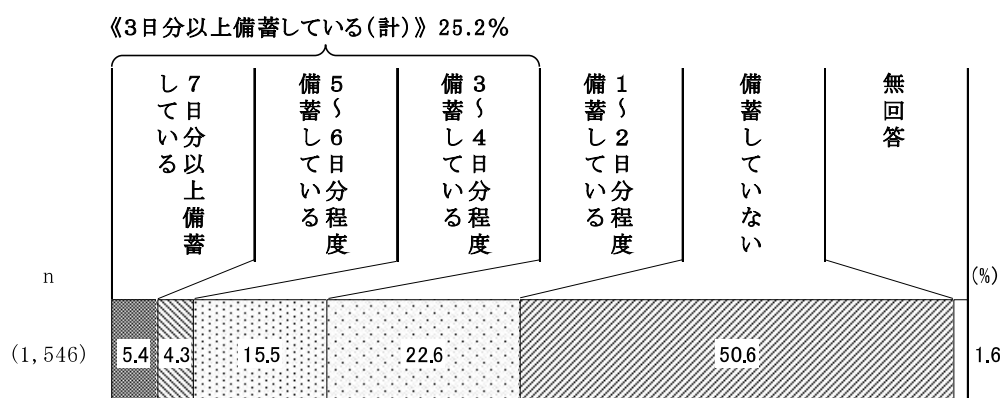


飲料水の備蓄量は、「1～2日分程度備蓄している」が30.3%と最も高く、「7日分以上備蓄している」「5～6日分程度備蓄している」「3～4日分程度備蓄している」を合わせた《3日分以上備蓄している(計)》は44.6%となっている。一方で、「備蓄していない」は23.7%であった。

(4) 携帯トイレの備蓄量

◇「備蓄していない」が50.6%

問6 川崎市では、災害に備えて1人1日5個の携帯トイレを最低3日分、できれば7日分以上備蓄しておくことをおすすめしています。あなたのご家庭では、災害時に備えて携帯トイレをどの程度備蓄していますか。(○は1つだけ)

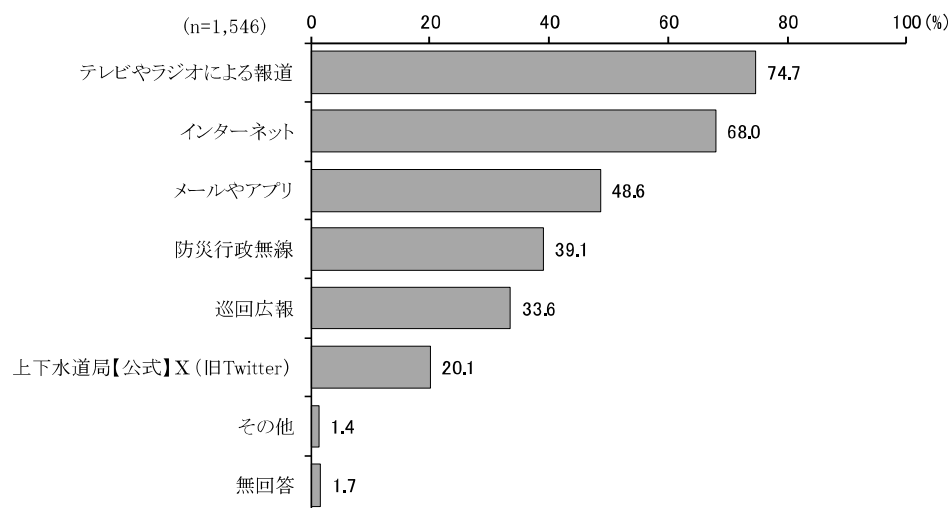


携帯トイレの備蓄量は、「備蓄していない」が50.6%と5割を占めている。また、「7日分以上備蓄している」「5～6日分程度備蓄している」「3～4日分程度備蓄している」をあわせた《3日分以上備蓄している(計)》は25.2%であった。

(5) 水道の断水や下水道の使用制限時、情報を得るために利用したい手段（媒体）

◇「テレビやラジオによる報道」が74.7%

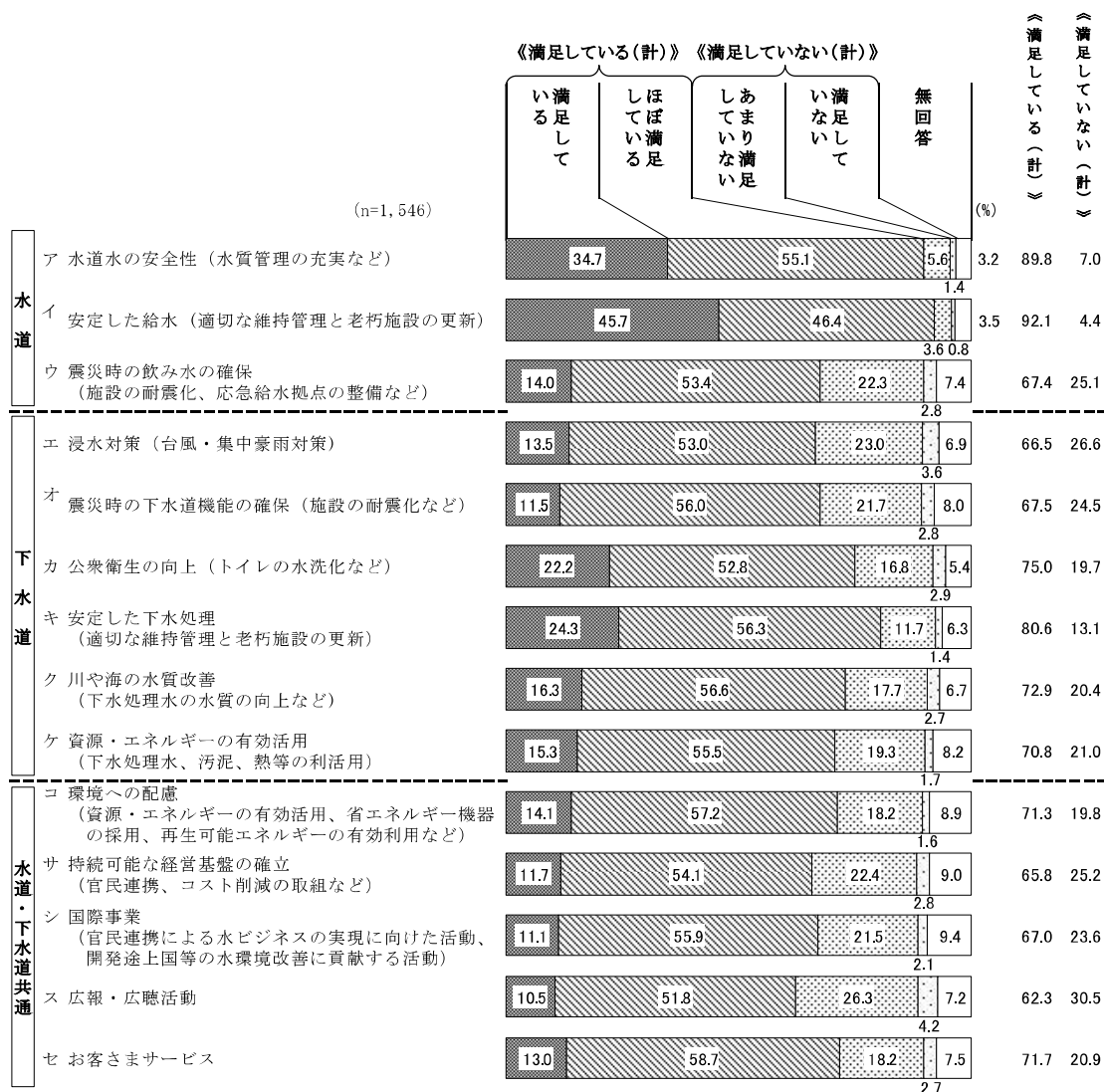
問7 大規模災害時や、事故等が発生して水道の断水や下水道の使用制限が生じた場合、水道・下水道に関する情報をどのような手段（媒体）で得たいですか。（○はいくつでも）



水道の断水や下水道の使用制限時、情報を得るために利用したい手段（媒体）は、「テレビやラジオによる報道」が74.7%で最も高く、次いで「インターネット」が68.0%、「メールやアプリ」が48.6%と続いている。

(6) 水道・下水道に対する満足度（評価）

◇ [イ 安定した給水] について《満足している（計）》が 92.1%

問 10 川崎市の水道・下水道のア～セの事業内容について、どの程度満足していますか。
それぞれの項目について、あてはまる番号をお選びください。（○は各項目に1つずつ）

水道・下水道に対する満足度（評価）について、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた《満足している（計）》は [イ 安定した給水（適切な維持管理と老朽施設の更新）] が 92.1%で最も高く、次いで [ア 水道水の安全性（水質管理の充実など）] が 89.8%、[キ 安定した下水処理（適切な維持管理と老朽施設の更新）] が 80.6%と続いている。